

【菊陽町教育委員会】＜成果イメージ＞ 日本語指導推進事業

現状・課題

＜町の状況＞

- 日本語指導を必要とする児童生徒は、R5:14人、R6:17人 で増加傾向
 - TSMC駐在員の子女の来熊に伴い、更に増加
 - 本町公立学校に通わせたいという希望も一定数ある
 - 親が安心して通わせることができる、外国籍児童生徒の受入実績が十分な学校を重視
- #### ＜受入拠点校＞
- 菊陽町：武蔵ヶ丘小、武蔵ヶ丘中

＜課題＞

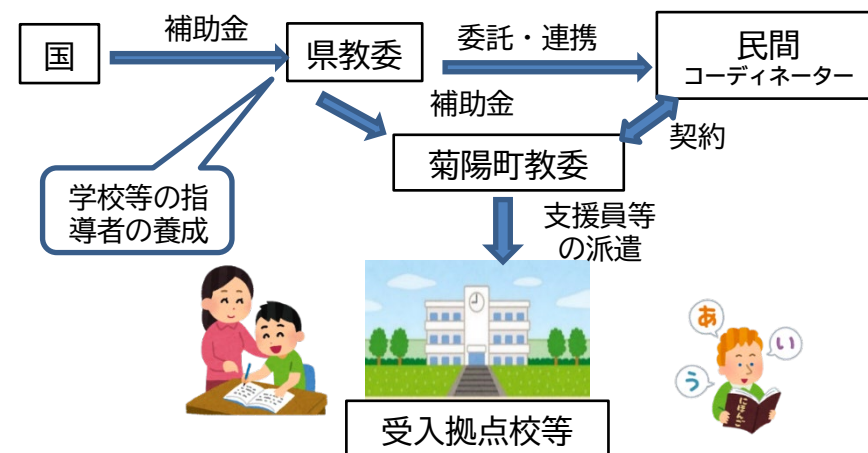
○TSMC駐在員の子女を含め、日本語指導を必要とする児童生徒への支援体制の充実を図っていく必要がある。

事業概要

- 事業内容：日本語指導支援員等派遣事業
外国ルーツのお子さんで日本語が全くできない、もしくはレベルチェックの結果、必要とされた児童生徒に対してテキストの課程が終わるまで（200コマ程度）初期指導を行う。

○事業主体：県及び菊陽町

○事業期間：令和7年度



成果

- 日本語指導が必要な児童生徒に適切な教育の機会を提供することができる。